

令和7年4月25日  
302会議室

令和7年第8回  
立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

## 令和7年第8回立川市教育委員会定例会

1 日 時 令和7年4月25日(金)  
開 会 午後1時30分  
閉 会 午後2時06分  
休 憩① 無

2 場 所 302会議室

3 出席者

教育長	飯 田 芳 男		
教育委員	岡 村 幸 保	伊 藤 憲 春	
	小 柳 郁 美	堀 切 菜 摘	
署名委員	伊 藤 憲 春		

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長	齋藤 真志	教育総務課長	白井 隆行
学務課長	澤田 克己	指導課長	寺田 良太
統括指導主事	石井 和成	統括指導主事	野津 公輝
教育支援課長	高橋 周	学校給食課長	近藤 忠良
生涯学習推進センター長	鈴木 峰宏	図書館長	黒島 秀和

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係	和田 健治	齋藤 綾乃
----------	-------	-------

## 案 件

### 1 協議

- (1) 令和7年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」(案)について

### 2 報告

- (1) 長期欠席児童・生徒への給食提供の本格実施について
- (2) 令和6年度教育委員会事業後援の概要について

### 3 その他

## 令和7年第8回立川市教育委員会定例会議事日程

令和7年4月25日

302会議室

### 1 協議

- (1) 令和7年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」(案)について

### 2 報告

- (1) 長期欠席児童・生徒への給食提供の本格実施について
- (2) 令和6年度教育委員会事業後援の概要について

### 3 その他

---

◎開会の辞

○飯田教育長 ただいまから、令和7年第8回立川市教育委員会定例会を開催いたします。

署名委員に伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 はい、よろしく申し上げます。

○飯田教育長 本日は、協議1件、報告2件でございます。その他は議事進行過程で確認いたします。

次に、出席者の確認を行います。齋藤教育部長、お願いいたします。

○齋藤教育部長 本日、第8回立川市教育委員会定例会への出席管理職でございます。教育部長、教育総務課長、学務課長、指導課長、石井統括指導主事、野津統括指導主事、教育支援課長、学校給食課長、生涯学習推進センター長、図書館長、以上でございます。

---

◎協 議

(1) 令和7年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」(案)  
について

○飯田教育長 では、1協議(1)令和7年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」(案)について、に入ります。

臼井教育総務課長、説明をお願いいたします。

○臼井教育総務課長 それでは、1協議(1)令和7年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」(案)について、資料に基づきご説明いたします。

例年実施しております業務ではございますが、趣旨や対象、令和7年度の進め方につきまして改めてご説明させていただきます。

まず、1、趣旨でございます。点検・評価につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定されているとおり、自ら点検・評価をすることが義務づけられております。教育委員会が自ら教育行政についての点検・評価を行い、その結果を市議会や市民に報告することにより、開かれた行政と効果的な教育行政の一層の推進を図ることが趣旨でございます。

次に、2、対象でございますが、点検・評価の対象につきましては大きく分けて2つございます。1つ目は、教育委員会の運営や市長等との連携、研さん、視察の3つの活動について、2つ目は、教育委員会所管の4つの個別計画から抽出した19の施策について点検・評価を行うものでございます。

次に、3、実施方法について、でございます。

①評価対象年度は、令和6年度でございます。

②令和6年度における活動と施策を対象といたしまして、成果と課題を総括し、次年度の方向性を示します。

③点検・評価にあたっては、学識経験者であります点検・評価外部員3名との意見交換会を実施します。

④いただいた意見を踏まえた形で教育委員会において点検・評価を決定し、⑤のとおり、その決定内容を令和7年第3回市議会文教委員会へ報告、また、市のホームページでの公開を行うものでございます。

2ページをご覧ください。

4の点検・評価の流れにつきましては、記載のとおりでございます。

次に、5、評価の基準でございますが、各活動や施策の達成目標に対して、達成度をS、A、B、Cの4区分で評価するものでございます。

3ページをご覧ください。

令和6年度分の点検・評価を行う活動と施策の一覧でございます。教育委員会活動に対して3項目、個別計画に対して19項目、合計で22項目を評価いたします。

4ページをご覧ください。

スケジュール（案）でございます。5月26日の第10回、6月10日の第11回教育委員会定例会の2回で、事務局で作成しました評価（案）についてご協議いただきまして、その後、教育委員の皆様からコメントをメールでいただきたいと思っております。それらを踏まえまして、6月27日の第12回教育委員会定例会で教育委員会としての点検・評価（案）を取りまとめまいります。その後、7月中に点検・評価外部員にお集りいただき、意見聴取を行っていただきます。

8月14日の第15回教育委員会定例会でどのような意見があったのかをご報告いたしますので、それを踏まえまして、教育委員会における最終案をまとめていただきまして、8月28日の第16回教育委員会定例会で議案としてご審議いただくスケジュールを予定しております。

説明は以上となります。

○飯田教育長 説明、ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

小柳委員。

○小柳委員 ご説明、ありがとうございます。

簡単なことなのですが、整理させてください。

2ページに流れが書いてありますが、「③担当課の事務局（案）について、教育委員会で協議を行います。」に該当するのが4ページの第10回と第11回で、「④協議の結果を教育委員会点検・評価（案）としてとりまとめます。」が第12回ということと合っていますか。

○臼井教育総務課長 はい。

○小柳委員 以上です。

○飯田教育長 ほかにございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 ないようでございますので、お諮りいたします。

1 協議（1）令和7年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」（案）について、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○飯田教育長 異議なしと認めます。

よって、1 協議（1）令和7年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」（案）について、は承認されました。

---

## ◎報 告

### （1）長期欠席児童・生徒への給食提供の本格実施について

○飯田教育長 続きまして、2 報告（1）長期欠席児童・生徒への給食提供の本格実施について、に入ります。

近藤学校給食課長、説明をお願いいたします。

○近藤学校給食課長 それでは、学校給食課より、長期欠席児童・生徒への給食提供の本格実施について、ご説明をいたします。

令和6年度2学期から開始した長期欠席児童・生徒への給食提供の試行実施については、3学期からの対象者の拡大と運用の弾力化により徐々に参加者が増加しており、事業の周知が進んでいる状況です。

令和6年度の実績としましては、延べ人数で児童30名、生徒24名、合計54名の参加がありました。実際に参加された児童・生徒及び保護者等の感想からも、家の外に出るきっかけづくり、学校給食を食べることを経験し、小中学校時代の思い出を共有するといった本事業の目的が達成されていることが確認できたことから、令和7年度より、令和6年度3学期の事業内容を引き継ぎ、本格実施いたしました。

より多くの長期欠席児童・生徒に給食を提供できるよう、引き続き学校や関係各課と連携する中で事業の周知を図ってまいります。

学校給食課からは以上となります。

○飯田教育長 では、説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

岡村委員。

○岡村委員 説明ありがとうございました。とてもいい取組なので、何とか発展してほしいと思っております。昨年度に始まり、実績の数字はほとんど横ばいですが、今後進めていくために、今方策は簡単に述べられましたけれども、具体的にどのような方法によって周知していくか、教えていただきたいと思えます。よろしくをお願いします。

○飯田教育長 近藤学校給食課長、お願いします。

○近藤学校給食課長 実際に参加された保護者の方などの感想にも、思ったより参加者が少ないというのがもったいないというお話があります。課題としましては、岡村委員がおっしゃられたように周知についてどのように取組んでいくかというところで、今は市のホームページなどを中心に情報の周知をしており、また、学校のほうで学校を休みがちな子ども

に対して、こういった取組をやっているよということをいかに保護者の方にお知らせしていくかという中で、通知票を受け取りに来る際にチラシを渡してもらう等、直接情報をお渡ししていけるように取組んでいます。

ただ、それでもまだ情報の周知が不十分なところがあるということで、今そういった休みがちな児童・生徒の方が見るようなウェブ上の情報を共有するページ、関係各課のツールの中でそういったページがあるということで、そういったところにこちらの取組みのリンクを貼らせてもらうなど、そういった形で情報を得てないご家庭に、知ってもらうきっかけを増やしていけるよう取り組んでいるところです。

以上です。

○飯田教育長 岡村委員、いかがですか。

○岡村委員 ありがとうございます。よく分かりました。

私も少しの期間、不登校支援員をしていたことがあり、別室指導を担当したのですけれども、朝から話題は今日の給食のことで、子どもたちは、今日はカレーだから頑張ろうという感じだったので、食べるという、人間として基本的なことは本当に大事ななというのを体験しました。とてもいい取組なので、多くの子どもたちに周知されるよう、これをきっかけにいろんなことがよくなっていくこともありますので、ぜひよろしくをお願いします。

以上です。

○飯田教育長 ありがとうございます。

ほかにいかがですか。

伊藤委員。

○伊藤委員 ご説明ありがとうございます。とてもいい取組で、感心しているのですが、予定をして行くということはなかなか難しい中で、学校に行けない子どもたちが、学校の関係で、朝、今日の1日の予定を見る等でアクセスするようなページがあり、そういうところに、お昼だけでも食べにおいでよ、予約は要らないよみたいなことが書いてあったら、では給食だけでも食べに行ってみようかというふうになるのではないかなと考えました。

ただ、10組程度分の給食を用意していて、参加者がいない場合には、無駄になってしまうというようなことなのではないでしょうか。それでもよろしいのではないかなと思うのですが、確認させてください。

○飯田教育長 近藤学校給食課長、お願いします。

○近藤学校給食課長 今いただいたご質問ですけれども、伊藤委員のおっしゃられるとおり、用意していた分、いらっしゃる方が少なかった場合にはそのまま廃棄というような形になっております。

以上です。

○飯田教育長 ほかにご質問、いかがでしょうか。

堀切委員。

○堀切委員 ご説明ありがとうございます。

今の岡村委員の周知というところで、近藤学校給食課長がお答えになっていましたが、その部分でお願いなのですが、長期欠席という表現を少し変えたほうがいいのではないかと思いました。

私たちは教育委員として、道徳の地区公開授業とかで学校に伺ったりするのですけれども、そうすると懇談会の場で、お子さんが不登校ですという親御さんにお会いしたりするのですね。給食の提供を実施していますよって、3人くらいにお話したのですけれども、どなたも知りませんでした。親御さんの中の一人が、うちの子はたまに登校するから当てはまるのかなとおっしゃっていて、先生も保護者も、この子はこれに当てはまるのだろうかと思ってしまうかなというのは少し思いました。

いい表現はないのかなと思って、ホームページを検索したら、今、近藤学校給食課長がおっしゃっていたように、学校を休みがちなのというのもいいと思いますし、学校に行きづらい、不登校がちな児童・生徒の方へと武蔵野市は書いていたりしたので、そういう表現のほうが、長期欠席児童・生徒と言われると、1学期ずっと行っていないみたいなイメージがどうしてもあるので、そういう書き方に変えるといいのではないのかなというふうに思いました。

続けて、よろしいでしょうか。

○飯田教育長 堀切委員。

○堀切委員 今付添いの保護者からは給食費を頂かないということになっているということですが、いつまでというのが、もし決まっていれば教えてください。

○飯田教育長 では、近藤学校給食課長、お願いいたします。

○近藤学校給食課長 今いただいたご質問についてですけれども、とりあえず令和7年度、今年度本格実施にあたりましては、保護者の給食費の取扱いをどうするかということで検討したところではあるのですけれども、やはり当面は児童・生徒が参加しやすい環境を確保すること、これが最優先ということで、引き続き無料で行うということで今年度取組んでいるところです。ですので、現時点で、来年度以降のことを申し上げることは難しいですけれども、そういった考え方で今後もやっていきたいと現時点では考えております。

以上です。

○飯田教育長 長期欠席児童・生徒という表現についてはいかがでしょうか。

○近藤学校給食課長 今アドバイスをいただいたように、実際、学校給食課の取組としまして、対象者について、文部科学省で提示する長期欠席とは違い、もう少し範囲も広く、学校を休みがちな児童・生徒を対象に実施しており、実際にその子が学校をどの程度休んでいるのかという確認をしております。ですので、まさに今堀切委員がおっしゃられた表現が当てはまる事業ですので、今いただいたお話を持ち帰って検討していきたいと考えております。

以上です。

○飯田教育長 堀切委員、よろしいですか。

○堀切委員 続けてですが、給食費の保護者の分に関しても個人的な希望としては、このまま続けて無償でやっていただきたいなと思いますので、とてもありがたいと思いました。

資料3 (1) 目的なのですけれども、保護者も実は家の外に出るきっかけを失いがちだと思えるですね。やはり子どもが朝行くかどうか分からない、そのたびに欠勤しているというような状況で職場をやめてしまう保護者もいらっしゃいます。なので、保護者も支援するというような意味合いも、書く必要はないのですけれども、そのような気持ちも持っていたけるととてもありがたいです。

もし可能でしたら、今後、例えば子どもが学習をできる場をつくるとか、私が一番お願いしたいのは、保護者が子どもと適切な距離が取れなくなってしまうことがあるので、保護者同士で相談したり、情報交換したり、交流する場、子どもを連れて行って、同じ場所で、例えば子どもと別室で親同士が交流できるような場所があったらつくっていただきたいなと思います。これは意見でした。

○飯田教育長 近藤学校給食課長、いかがでしょうか。

○近藤学校給食課長 今のお話についてですけれども、学校給食課といたしましては安全・安心な給食提供を通じ、児童・生徒に対する不登校対策の取組の1つとして本事業を実施しております。学習スペースや、保護者同士の交流の場というものにつきましては、市全体で需要や必要性について検討した上で、今後の対応等を整理していくべきものと考えておりますので、今いただいたご意見につきまして、まずは関係する庁内の部署に共有をしていきたいと思えます。

以上です。

○堀切委員 よろしくお願ひします。

○飯田教育長 私から1点、来てくれる児童・生徒の交通手段というのはどうですか。保護者の車や自転車が多い、徒歩の子しかいないなど、その辺はいかがですか。

近藤学校給食課長。

○近藤学校給食課長 今年度になってから、私が実際に見ている情報しか今持ち合わせがなく、昨年度はどうだったかというデータは持ち合わせてないのですが、自転車でいらっしゃる方が多いです。中には車で来られる方もいらっしゃいますけれども、自転車で来て、そのまま中の部屋に入ってくる方が多いです。天気が悪いときに、給食を食べに行きたいという思いが強く、30分かけて歩いてきたということ、**「くるりんルーム」**という場所に置いてある自由帳に書いてくださっている子どもが昨年度いたということを見たりはしました。なので、自転車で、雨だった場合は徒歩でということで、給食が食べたいという思いが強く、来てくれている子どもがいると感じています。

以上です。

○飯田教育長 市内の遠い地域からも来ている様子はいかがですか、分かる範囲で結構です。

近藤学校給食課長。

○近藤学校給食課長 南の地域から来ていただくことはあまりないですが、西のほうだと七中ですとか、松中小、西砂小、そういった学区の子どもの受付の記録はございます。

○飯田教育長 ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

小柳委員。

○小柳委員 これも昨年度のことなので、分かる範囲で大丈夫です。実人数が9名の児童・生徒ということで、延べ人数は54人なので、1人の児童・生徒が何回か来ている計算になると思うのですが、質問は2つで、1つは何回か来ている子同士が、友達になって「ああ、久しぶり。」みたいなことがあるのでしょうか、基本的にたしか1人で、会わないようにと伺った気がするのですが、9名もいるので、もしかしたら、よく会うねみたいな感じでそこで知り合いになることがあるのかというのが1つです。2つ目は、この9名の子たちに何か変化があったのかということが知りたいです。例えばたまに学校に行けるようになったとか、まだ短い期間の実施なので、すぐに変わるとは思っていませんが、何か少しでも前向きな気持ちになったとか、そういった変化がもし分かるならば、教えてください。

以上です。

○飯田教育長 近藤学校給食課長、いかがですか。

○近藤学校給食課長 今いただいた2点の質問についてです。昨年度の3学期に来ていただいている児童・生徒の状況を見ますと、多い日で3家族、1家族、2家族という日が多いような状況です。ですので、子ども同士が交流を図って友達になれたかは、把握できていないところではあるのですが、栄養士と児童・生徒との交流はあるようで、「また来てね。」と送り出すというのは今年度になってからも毎日行っていますし、来てくださった方に自由に書いてくださいという自由帳の中で、栄養士に「今日もおいしかったよ、また来るよ。」「また来てね。」というやり取りが毎日続いているような状況も見受けられますので、外部との接触、少なくとも栄養士との接触というところで、コミュニケーションは取れていると考えております。

また、「くるりんルーム」に通うことでの変化についてですが、今年度に入ってから、「あの子どもが来ないね。」という話を実際、栄養士がしている場面があり、確認をしたところ、4月からは学校に通っているような子が少なくとも1人いるということは確認が取れております。ですので、そのほかの児童・生徒についても、今、学校に状況を確認してもらっていますので、確認次第、報告ができると思います。

以上です。

○飯田教育長 小柳委員、よろしいでしょうか。

○小柳委員 はい。ありがとうございます。1人でも給食でちょっと救えたなど、とてもいい取組だと思うので、ぜひ無料のまま続けていただきたいです。

以上です。

○飯田教育長 ほかにご質問ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 では、ないようでございますので、これで2報告（1）長期欠席児童・生徒への給食提供の本格実施について、の報告及び質疑を終了いたします。

---

◎報 告

(2) 令和6年度教育委員会事業後援の概要について

○飯田教育長 続きまして、2報告(2)令和6年度教育委員会事業後援の概要について、に入ります。

鈴木生涯学習推進センター長、説明をお願いいたします。

○鈴木生涯学習推進センター長 令和6年度教育委員会事業後援概要につきまして、生涯学習推進センターから報告いたします。

教育委員会事業後援につきましては、立川市教育委員会事業後援規程により各種事業を後援する基準及び手続について定めております。

資料に基づき説明させていただきます。

1、概要です。令和6年度1年間での申請件数は116件でございました。

2、申請事業の後援実績の有無でございます。実績のあるものが88件、新規申請が28件になります。

3、申請事業の承認の可否ですが、全ての申請を承認しております。

このほか申請前にお話をいただいて、結果的に申請には至らなかったケースもございます。例えば営業活動に直結しているものなどはお話の時点でお断りしてございます。

4、申請事業の事業分野でございます。社会教育、体育及びレクリエーション、家庭教育、文化などの分野ごとに件数の内訳を掲載させていただきました。

5、申請事業の対象者の内訳でございます。一般、子ども向け、子どもを含めた親子向けの3つに分けて内訳を示させていただきます。

6、申請団体種別ということで内訳を記載させていただきました。

資料の2ページ目でございますが、過去の経年変化を棒グラフで示させていただきました。令和6年度は、ほかの社会教育活動や生涯学習活動と同様、コロナ禍前の状況にほぼ戻ってきております。

次ページは令和6年度に新規承認をした28件の一覧となっております。

令和6年度の教育委員会事業後援の概要の報告は以上でございます。

○飯田教育長 説明、ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

小柳委員。

○小柳委員 ご説明、ありがとうございます。

後援している事業が116件あると思うのですけれども、例えばイベントで50人募集したとして、満員御礼になってしまったイベントはどのくらいあるのか、30人の定員だけれども、参加者は3人しかいなかったなど、そういう何パーセントを占めたか、応募は何パーセントきたかのようなデータは取らないのでしょうか。去年も聞いた気がするのですけれども、たしか取ってなくて、せっかく後援をしているので、もし何人来ましたかと聞いたら、教え

てくれるのではないかなと思うのですけれども、そうすると世の中が何を求めているかが分かるのではないかなと思うのです。アンガーマネジメントが満員御礼だったら、世の中はアンガーマネジメントに興味あるのだとか、参加人数が少ないから後援を辞めるというわけではなく、世の中が何を求めているのかというのが分かったら、市でイベントを企画する際のデータになるのではないかなと去年も言ったかもしれないのですけれども、いかがでしょうかという意見です。

以上です。

○飯田教育長 鈴木生涯学習推進センター長、いかがでしょうか。

○鈴木生涯学習推進センター長 募集にかけての充足率というところの視点もあるのかもしれませんが、参加人数は昨年そういうご指摘がありましたので、令和6年度から数字を持っています。大きいイベントに関しましては、例えば1万5,000人とか、1万8,000人とか、そういったイベントの形で、当然少人数の10人程度のイベントもございます。

今ご質問を受けたトレンドみたいなのところですが、確かにどうしてもその切り口によって、また対象によっても多寡があるというのも分かってきました。小柳委員もご指摘のように人数で後援の可否を決めていくということではなく、トレンドを認識しておくことも大切かと思しますので、今後分析していくことも重要かと思えます。

また、いわゆる市の事業との連携というところも、情報提供ができればいいかなとは思いますが、活用できるか否かというのは、今明確にお答えはできませんが、今後考えていきたいと思えます。

以上でございます。

○飯田教育長 小柳委員、よろしいですか。

○小柳委員 はい。

○飯田教育長 ほかの委員の皆さま、質疑はございますか。

[「ありません」との声あり]

○飯田教育長 では、ないようでございます。

これで2報告(2)令和6年度教育委員会事業後援の概要について、の報告及び質疑を終了いたします。

次に、その他に入ります。その他、何かございますか。

[「ありません」との声あり]

○飯田教育長 その他はないようでございます。

---

### ◎閉会の辞

○飯田教育長 それでは次回の日程を確認いたします。次回、第9回定例会は令和7年5月12日、午後1時から208・209会議室で開催いたします。

これをもちまして、令和7年第8回立川市教育委員会定例会を終了いたします。

午後2時06分

署名委員

.....

教育長